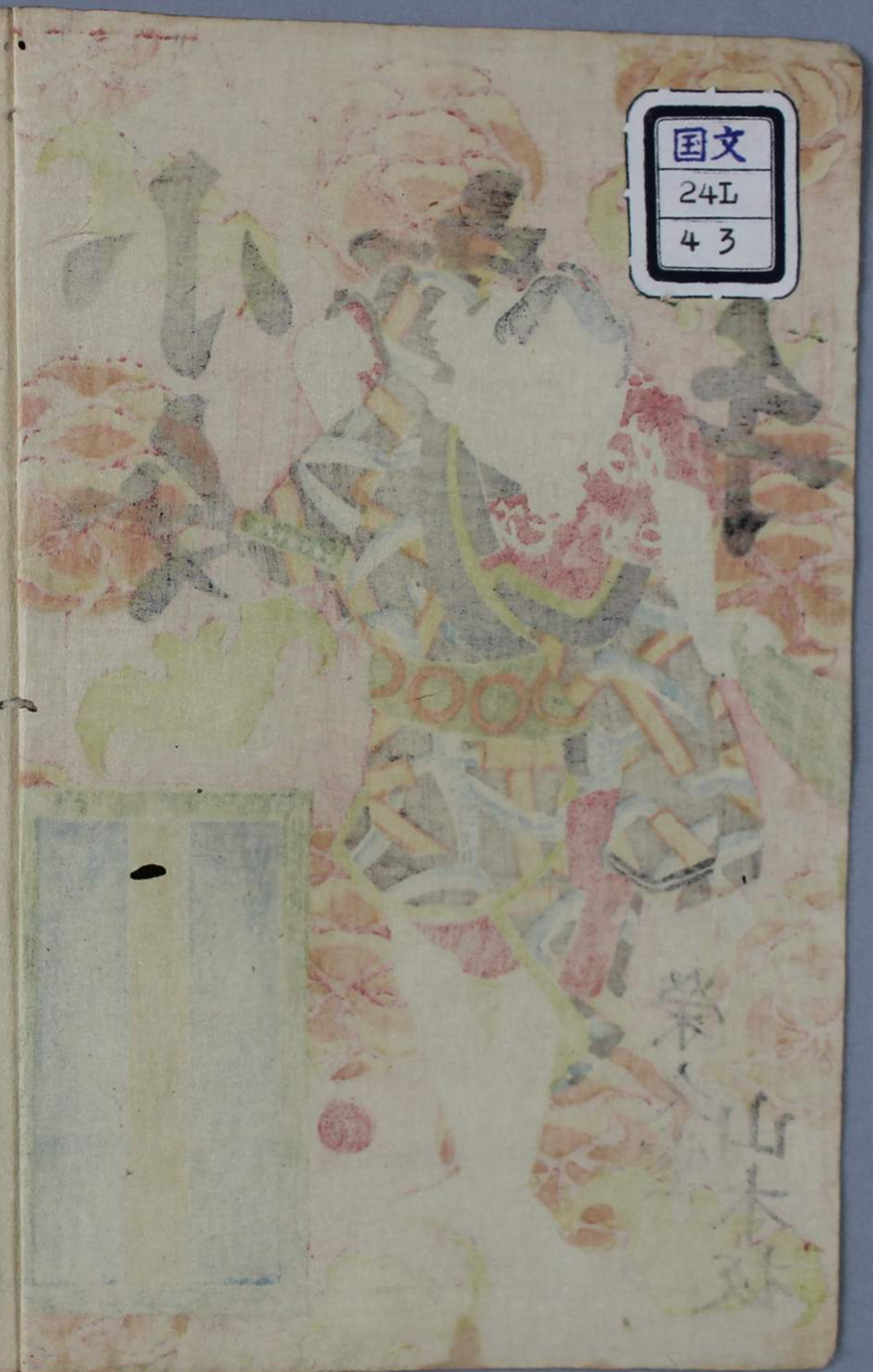
五百十九
貴重書
小女郎手習
墨川亭雪麿作
文政十二己丑春新鐫 全六冊
歌川國虎畫
榮久堂
山本板

国文
24I
43



40. 8. 26
ア306531

雪麿作　己丑春前編

小女郎手昔編笠

國虎画　山本板三冊

自序

榮久堂山本平吉梓行

曙櫻乃世話物時代の春ゆ咲せる室の早咲早桶袋桶代ゝ見立
かえ意も無常も混雑の四季ゝ様々の花鳥茶店絵脇のひいむ落
な西天笠ゝ奇ゝ妙茅妖の病に利ゝ釘額ゝ書る琴の字る画玉の手
ひゝ将棋の駒組濁る世ゝ護摩の煙いゝ心の火の焼場で見初ゝ恋ゝ人昔
男の昔ゝ今ゝ出村玉ゝ両個の新ゝ恋新版新手もゝまゝ男性
る鮮ゝ横絵ゝ余程流行ゝ後れ前ゝ前後の張自ゝ合て三十五里乃
塔屋根ゝ縁の下迄ゝ分ゝ画解の始ゝ ゝ長ゝ書入ゝ牛の涎
ゝ五歳ゝ倦ゝと不謂先序ゝ読ゝ御覧ゝ云
文政十二丑新版　墨川亭雪麿戯題

范平妹
阿霜
実ハ高安
左衛門娘
生駒姫
実ハ
赤井くふ屋や

右
遊女泊瀬川
京五条坂
新町屋が抱の
遊女
泊瀬川
実ハ有常の息女
井筒の前
布留の里の
商人
玉谷新兵衛
実ハ
在原
業平

五雨
や
江戸
家
乃
ぬり
木履
北溟
悪黨茨の塔兵衛
京町人
出邑新兵衛
実ハ紀有常の
臣
般若
五郎

京五条坂三國屋の小女郎
実ハ二条の后
高子君
宗岡の臣
荒川
團八

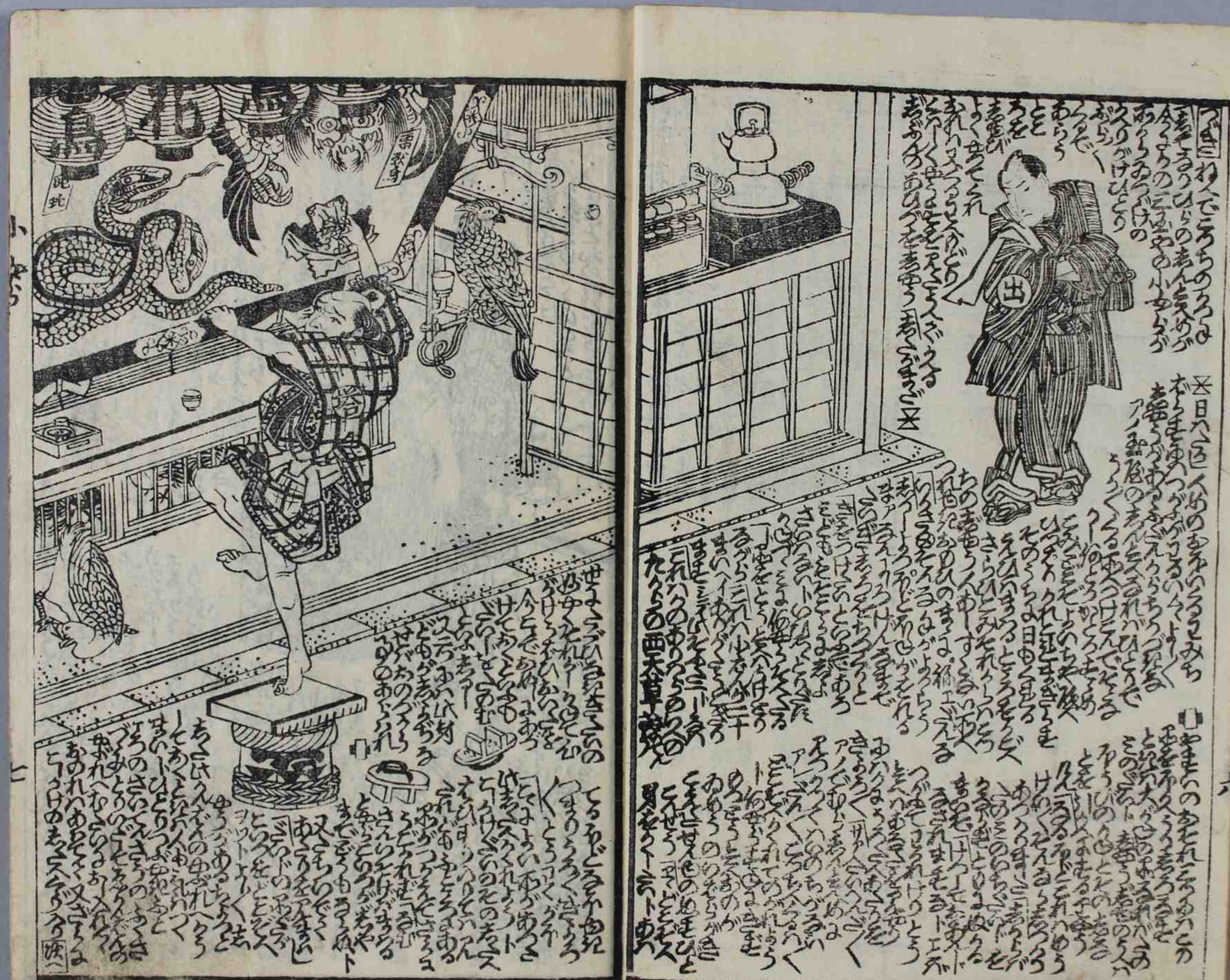
八坂の紅屋竹垣屋范平
実ハ業平の臣丹内兵衛

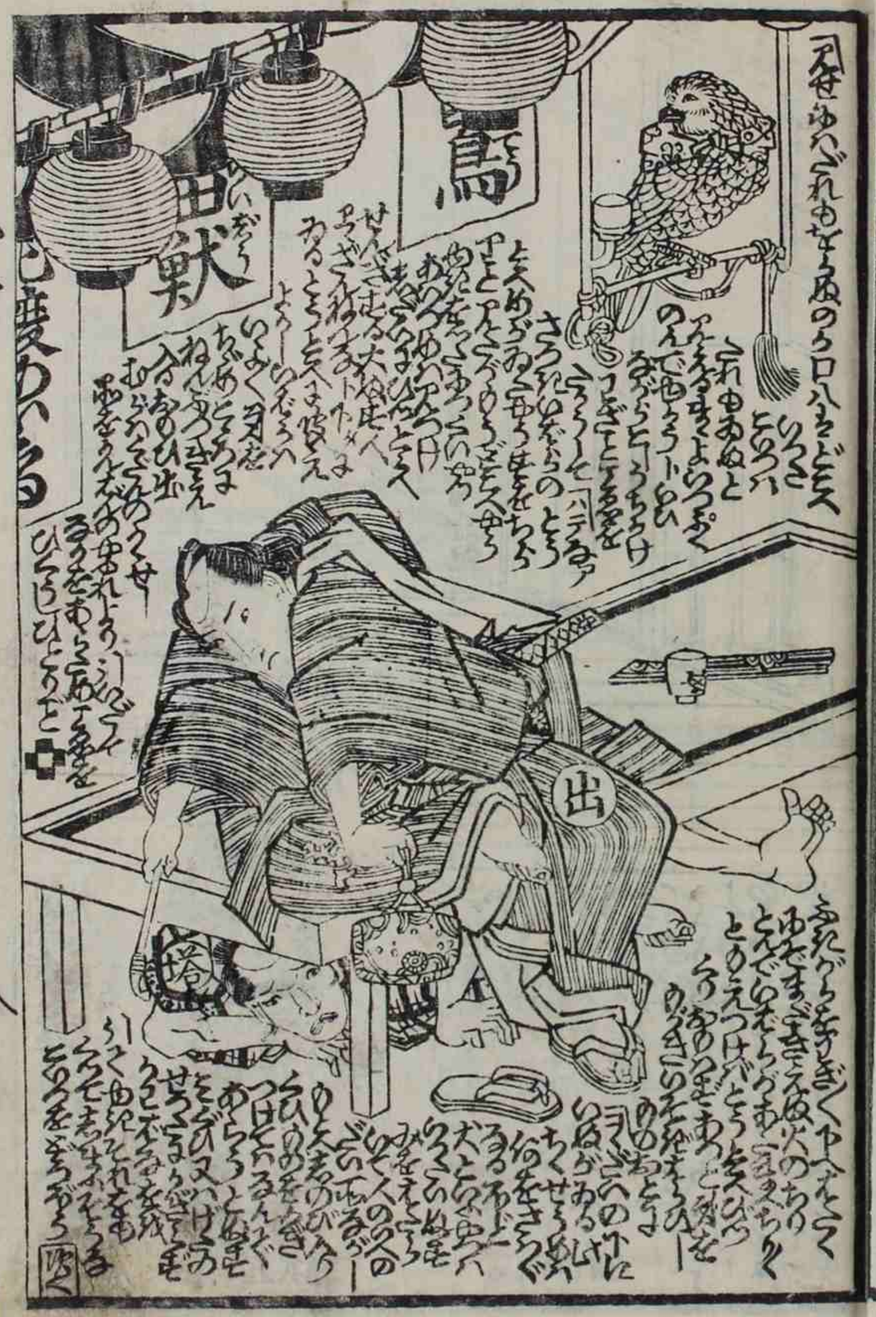
五条堀川城屋の仲居お槙偽て名虎が娘お槙の戸と名のる
実ハ文珠の化身
惟高親王の腹心
伴宗岡

京都
小町おどり
紅屋

万小右物
御やうじ家は
竹原屋

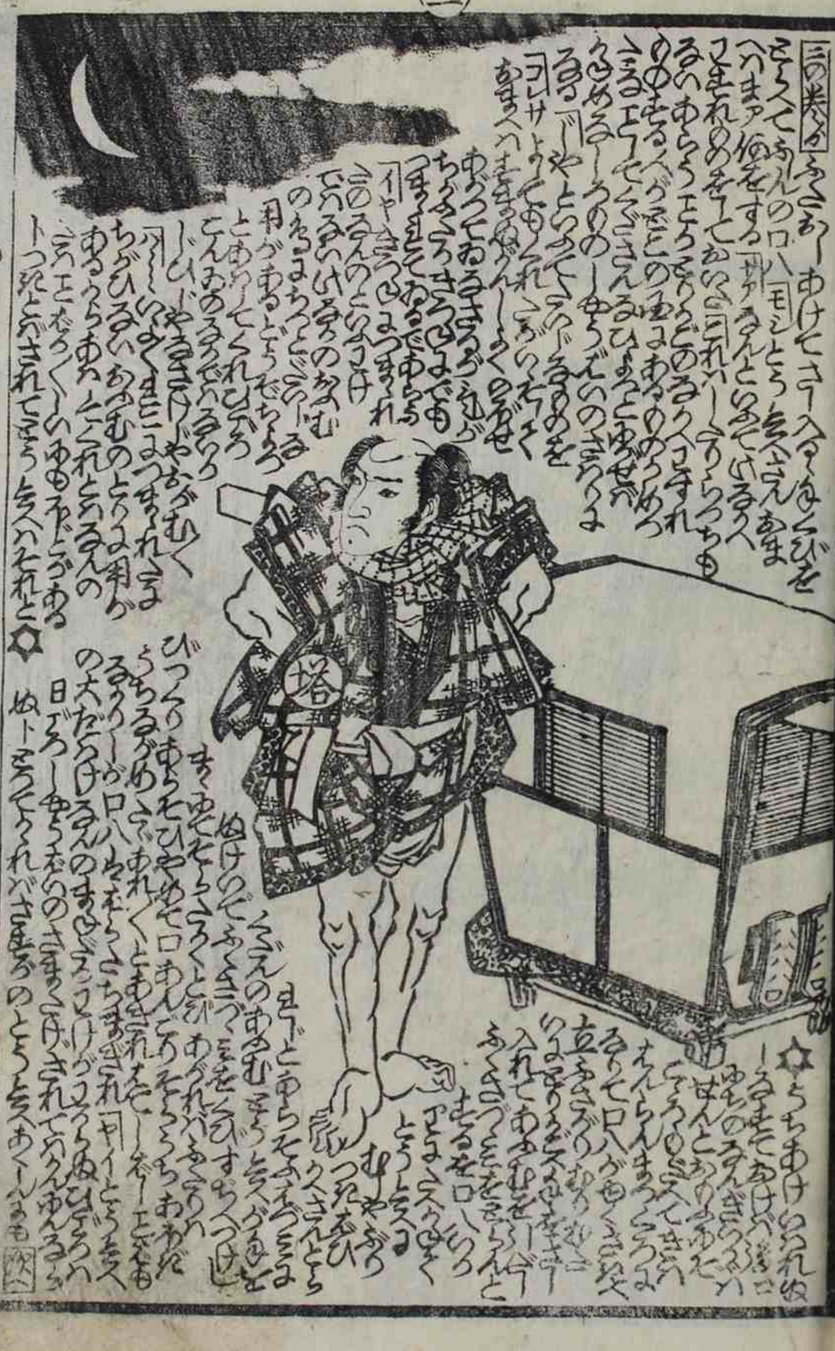
大入叶
花鳥ちや屋


出
鳥
吨
蛇


鳥
出
田
獣
捨

政
桂
塔
吉
王

つゞき
塔
口


三
塔

王
丸善
吉げん

玉

霜

つゞき
よ
范

雪麿作

○あらたまのとしのはじめのはつとり
はるのかすみのたちまいるなり

美艶仙女香
一包四八文

美玄香
一包四八文

美神仙香
一包四八文

美香
一包四八文

出

國虎画

市川海老蔵
市川團十郎
坂本氏製

昔あみ笠

小女郎うどん

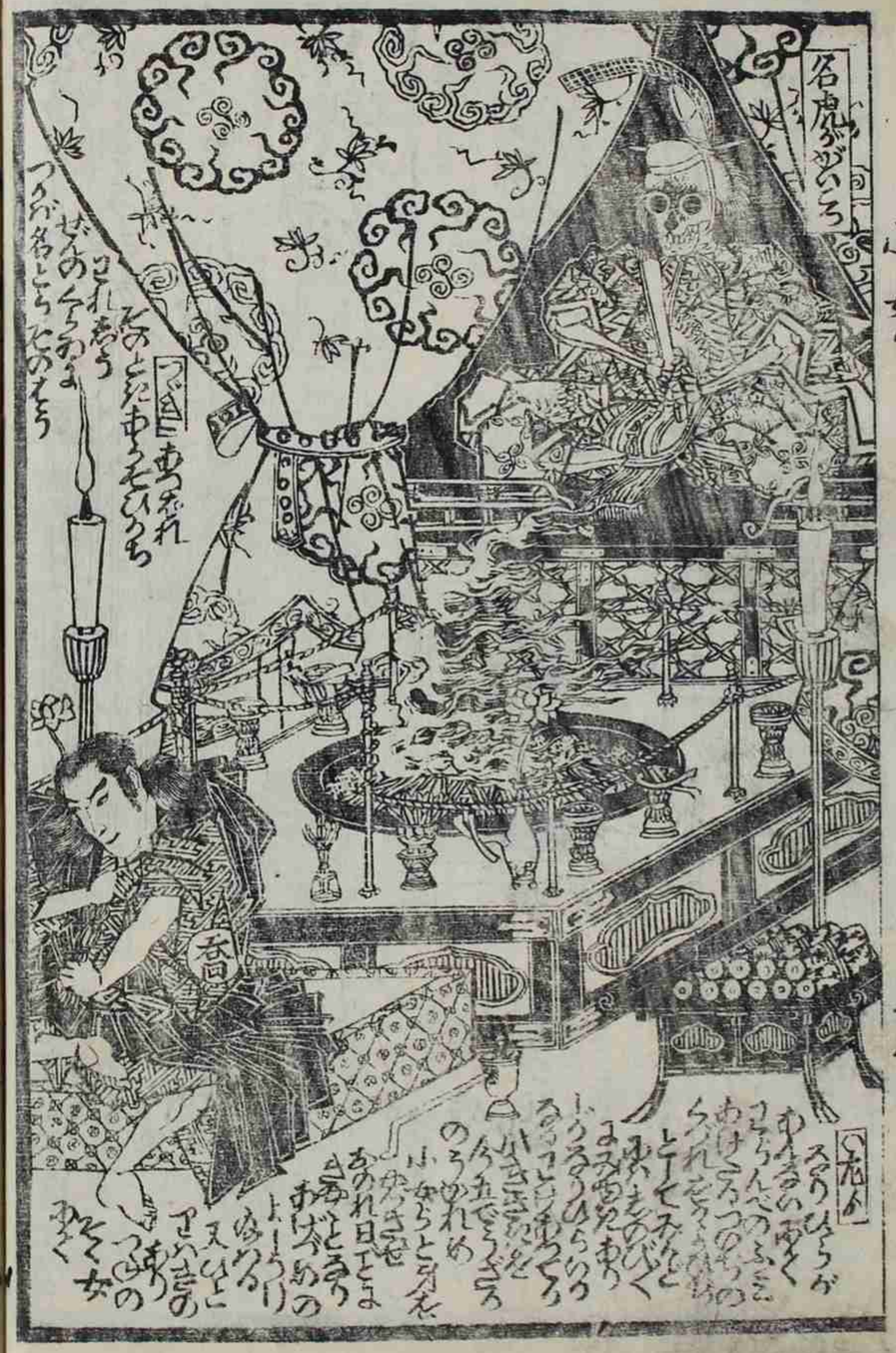
雪廼下紅葉

後編三冊

雪麿呂作
國虎画
山本板

巳丑春

名虎がいろ



虎
香高

京

人手琴
願主
敬白
奉納
出
桔

出
奉納
敬

つゞき

△そんなら そうこの こい右たり
どちらの王まつてこうぶや △「ひぐらい
見みやこれろさるまるそらくてくある
くらいあゆみやこれろうまれ王さまの内代
とろるがごろやこのこいひぐらいつく
そうろう △「ふとくみやでもこれひとまい
ろうまんしんあくまもそうけそあ
あんとくいん天とひとりくあらぬれぬ
やまをうけいのをみうとぐあらめ
まらしてもふそくるいあんき
ぜをうひぐらいあくあ右ハせん
あんせいあくまやしあうみぎひぐら
こうるうらぐこ三王の文字 △「みぎをひい
きまるきえきをきえい △「でむうまえ
とらふい世をまのぶくりの名まてこい
ひとまえこうのあんこうるきたうきのあり
つまのけらいえんゆやみうらとふのあミテ
ひぐりまつそうるいく △「うらきやのうるあ
あまにとい△えらこのうりひうれたこまぐる
うあのかりの名ゆまてまこいきこの名とらぶ
むすめまきのこ△とらがこ△えんうら
日ぐうらいこイいのうるあ △「ひやみうこと
ろうそい△「ぐひまを火をまるをうりがうる
女まぐらあ名とうのそく女をうること△コ
と△ふうで △「ゆやうをけうまるあうそひを
△「あくこまうこ天のよらんあれいひぐりのくうぐ
まけうりひうまあう △「うんのこ△やくうこそあ

右の口ふまうこ
こでうのきこれ
たりこのきこれが
うげ名よ
そふく
まりくて
これまぐぶ
しまあそ
もりうひが
きんぐまより
こうあうこ
ひうこ
あるひいうり
ひうらうんを
すくひあうが
あやうた

△とうろをも

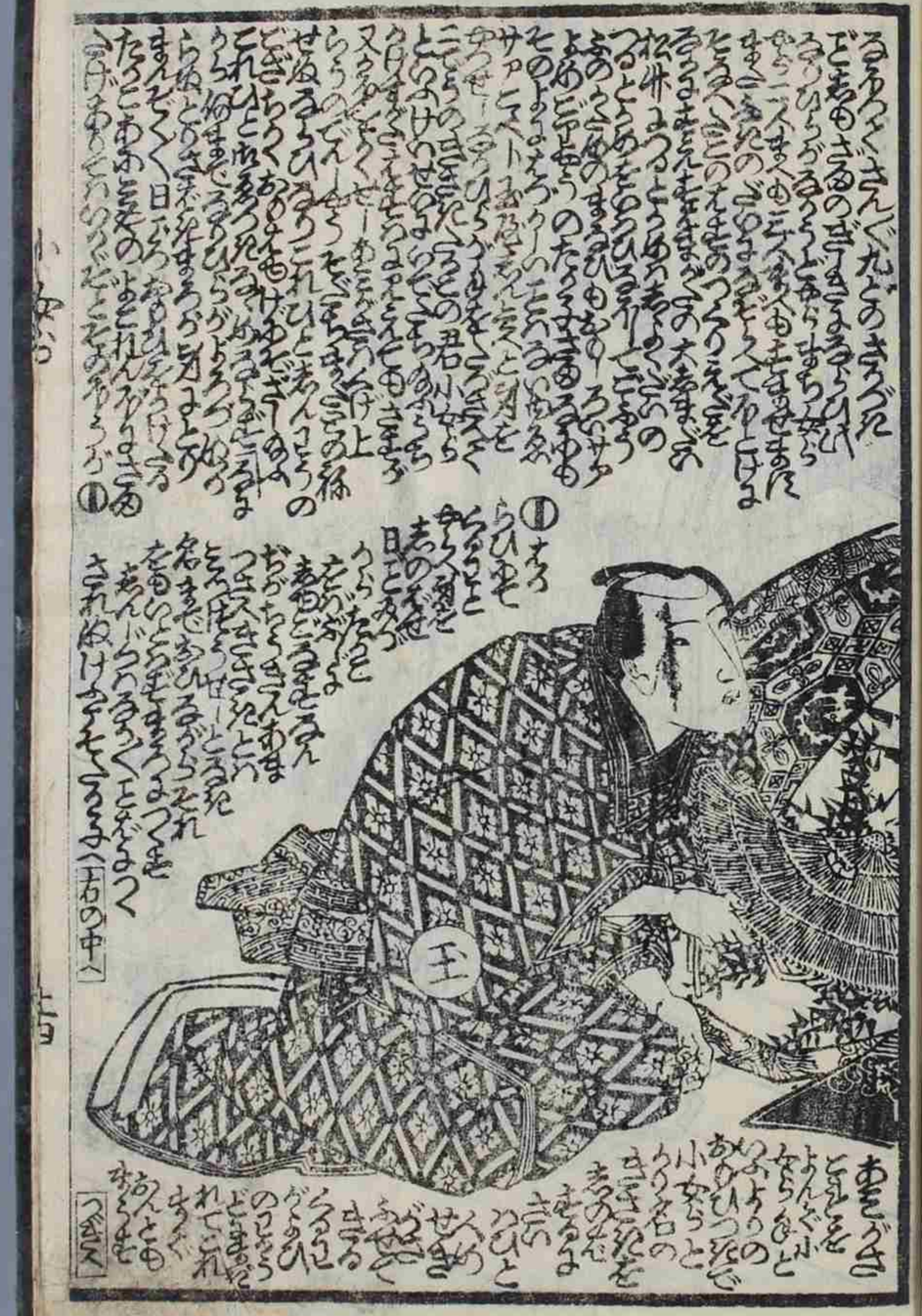
△そうの女たそうろうはコーヒ△「あうそひまるい
そうらうがあのれこうふ入るうのあ「まうあ
さうたうらうまうのさうけものつうるこうたくり
きまうをあうるをけうくいみくこうろくり利
うれのこイこうんまうのちまつりまあれが
うひのをさうらいあとこ△「あとがいたくこの
てまるまサアまんまうう立まりやう△「イザ
△「イザ△「イザトたうひまつめうりすぐる
うりうとこをえけるこうろひまをり
こうど上ゆくいをを川がこうう
こうをさこうこうこうこをれの者こう
ふこうりぶぶひまうるをうけこ
うるまりあうくめうのたりの
うありの王とうう文字
ちりれのつうひうちけが
せうこうちまうち王あのう
きこうくあこうこうりま
けりまえゆやみういさこここと
ようこうぶまうこうこうまこの戸いあり
ぎやゆうまうこうちをへイドゆん者
びこうのこんまうこうとあうこうれうぐこうこう
まうこんまうこうちのうたくうるみこうこうこうく
月こうるくこうんぢまうぶやこれここう
日こうありつうぶまんまるこうこのりまを
まうぶまうこのけまうこゆこくうまぶんこくの女と
まうこれつうひまりうこうりすゆすめあうくのまこ

右の下へ

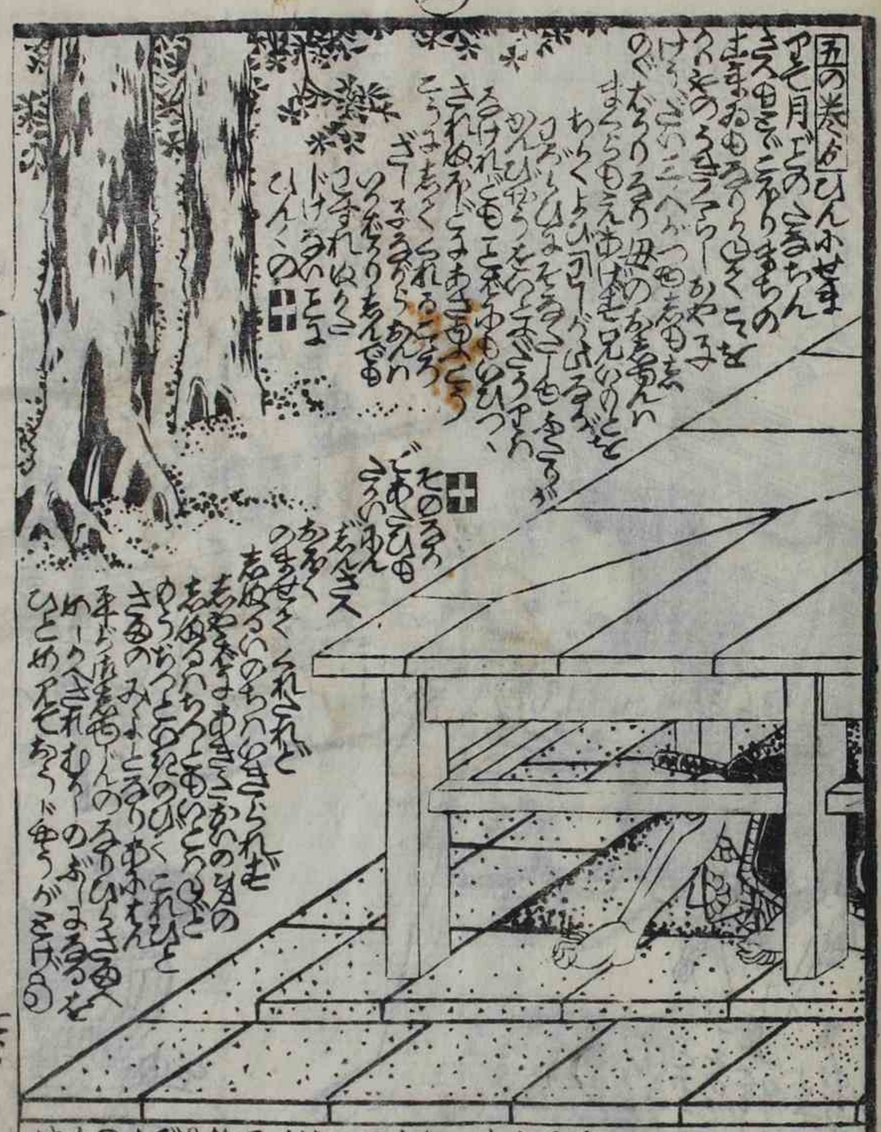
みうこうが
たまけ
こうこ
うんぢ
これひと
ここうろ
をこうする
ありつひが
けうこい
うぐうこ
ここの
ひをあ
こうあ
こうん
これ
きの名
とうが
すめ
まきの戸
こうのりく
きうせこの
まうこうこ
こうこうこ

つぎへ

小


王

箱
泡
霜
雨湯又



仁
王
宗

墨川亭雪麿作

一竜齋國虎画

文政己丑春發新版稗史目録

鶴屋南北作
国貞画
戯場梗概 全十二冊 五渡亭國貞画

同 作
昔今物語 全六冊 同 画

十返舎一九 作
瑜伽山靈驗 男結花緣記 全六冊 北尾重政画

同 作
繪手本武者鑑 花軍春錦繪 前六冊 後四冊 歌川國貞画

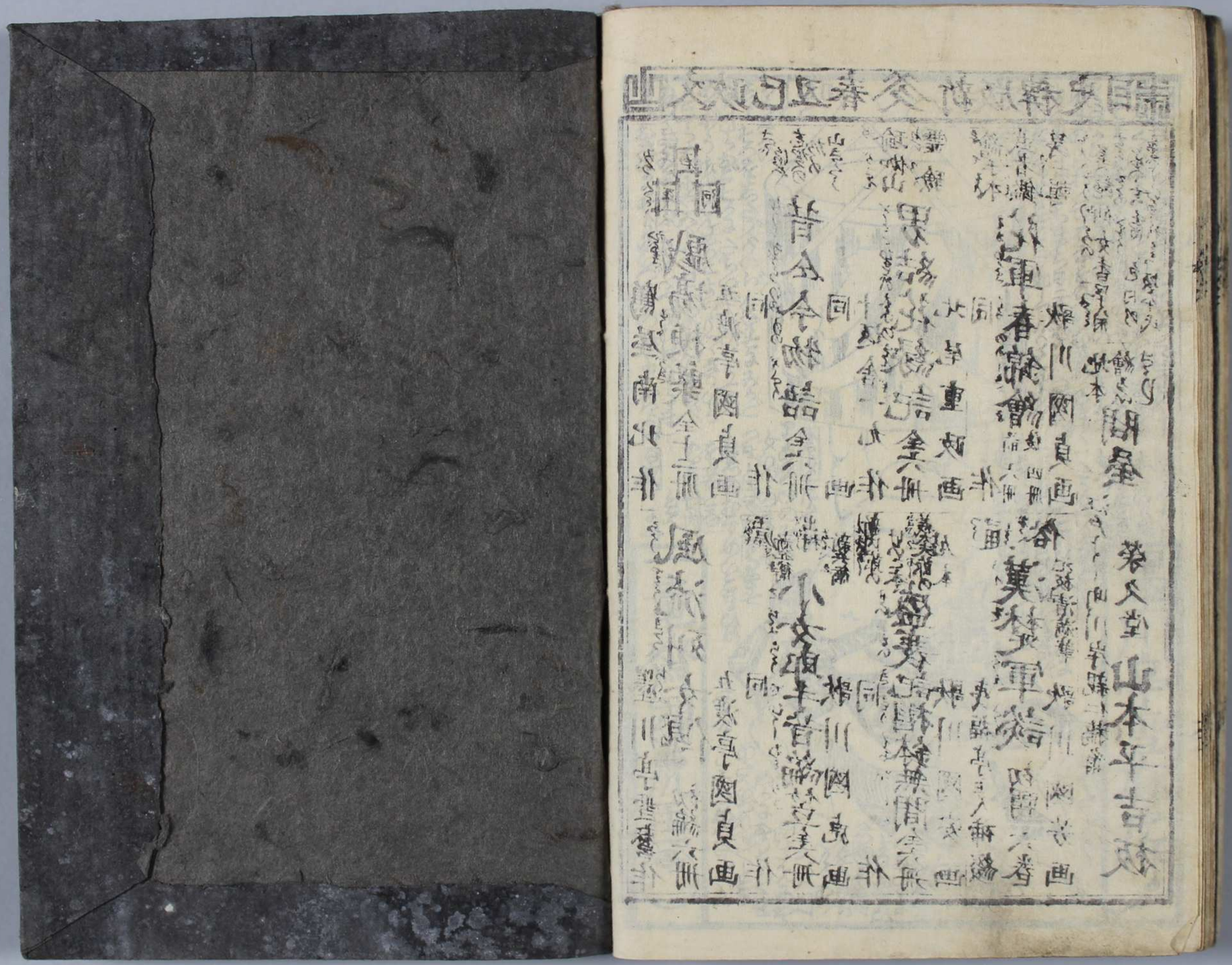
地本繪草紙 閑屋 江戸一町川岸親仁橋角 榮久堂 山本平吉板

風流列女傳 初編六冊 五渡亭國貞画

同 作
小女郎手昔編笠 全六冊 歌川國虎画

同 作
盛衰記摺鉢無間 全六冊 歌川國安画

通俗漢楚軍談 初輯六卷 歌川國芳画



文
圖書
庫度